

「最上小国川流域の治水対策等に関する協議（第2回）」協議概要

1 日時：平成26年4月12日（土） 午後2時30分～午後4時45分

2 場所：山形県農業大学校 緑風館（第1・2研修室）

3 協議メンバー

最上小国川流域産地協議会：会長（座長）

小国川漁業協同組合：組合長、副組合長 ほか

山形県：農林水産部長、県土整備部長、最上総合支庁長 ほか

最上町：最上町長、町議会議長、町議会産業厚生委員長

舟形町：舟形町長、町議会議長、町議会総務振興常任委員長

赤倉温泉町内会：会長、副会長、三之丞社長

4 協議概要

前回漁協から出された質問等について資料により県が説明した。

- ・ 流水型ダム案の治水効果の発現時期とコストについて【説明資料 p1～2】
- ・ 計画を超える洪水について【説明資料 p3～6】
- ・ 洪水時の濁りの発生と長期化について【説明資料 p7～8】
- ・ 常用洪水吐きの閉塞対策について【説明資料 p9～12】

また、最上小国川の内水面漁業振興に関する提案について資料により県が説明した。
【説明資料 p13】

次に県からの説明や提案に対する漁協の考え方を聴き、協議メンバーにより意見交換を行った。

意見交換を踏まえ、次回協議において以下のことを県が説明・提案することとなった。

（主な項目）

- ・ 目詰まり対策、工事中の濁水対策の説明
- ・ 他の流水型ダムの状況や寒河江川の濁りに関する確認結果の報告
- ・ 治水対策と内水面漁業振興を組み合わせた総合的な地域振興策の提案

なお、有識者を加えた協議開催についての意見が出されたが、同じメンバーで協議を継続することとなった。

以上